# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

06-343837

(43)Date of publication of application: 20.12.1994

(51)Int.CI.

B01D 63/02

B01D 63/00

B01D 65/02

(21)Application number: **05-154544** 

(71)Applicant:

EBARA INFILCO CO LTD

(22) Date of filing:

02.06.1993

(72)Inventor:

**ITO GIICHI** 

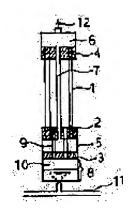
## (54) HOLLOW FIBER MEMBRANE MODULE

(57) Abstract:

PURPOSE: To obtain the structure capable of uniformly and sufficiently washing the neighborhood of a membrane water

collection part by bubbling.

CONSTITUTION: In the external pressure type hollow fiber membrane module arranged approximately with a diffuser member 8 for washing, potting parts are set in two stages 2 and 3, and the water collection part 5 is set at the gap of the potting parts set in two stages, and also a diffuser tube 9 is set so as to pass through the potting parts set in two stages, and one end of the diffuser tube 9 set so as to pass through is opened to the diffuser member 8, and the other end is opened to the potting part 2 spreading the hollow fiber membrane.





## **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

Linitled

(19)日本国特許庁(JP)

## (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-343837

(43)公開日 平成6年(1994)12月20日

(51) Int.CL5		織別紀号	庁内整理番号	PI	技術表示箇所
B01D	63/02		6953-4D	•	
	63/00	500	8014-4D		
	65/02	520	8014-4D		

密査請求 未請求 請求項の数1 FD (全 3 頁)

		審查請求	未請求 調求項の数1 FD (全 3 円)
(21)山東番号	<b>特線平5-15454</b> /	(71)出願人	000000402 社駅インフィルコ株式会社
(22)出題日	平成5年(1993)6月2日		東京都港区港南1丁目6春27号
		(72)発明者	伊藤 義一 東京都港区港府1丁目6番27号 荏原イン フィルコ株式会社内
		(74)代舉人	弁理士 宮嶺 桂 (外1名)

(54) 【発明の名称】 中空糸膜モジュール

### (57)【要約】

【目的】 膜泉水部近辺がパブリングにより均一かつ充分に洗浄できる構造の中空糸膜モジュールを提供する。 【構成】 洗浄用散気部材8を近接配備した外圧型中空糸膜モジュールにおいて、ボッティング部を2段2、3に設け、該2段に設けたボッティング部の間隙に泉水部5を設けると共に、前記2段に設けたボッティング部を頁通して散気チューブ9を設置し、該質通して設置した散気チューブ9の一端を前記散気部材8に関口し、他端を中空糸膜を張設したボッティング部2に関口したものである。

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 洗浄用散気部材を近接配備した外圧型中 空糸膜モジュールにおいて、ポッティング部を2段に設 け、該2段に設けたボッティング部の間隙に集水部を設 けると共に、前記2段に設けたポッティング部を貫通し て散気チューブを設置し、該貧運して設置した散気チュ ープの一端を前記散気部村に関口し、他端を中空糸膜を **張設したポッティング部に開口したことを特徴とする中** 空糸膜モジュール。

1

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、中空糸膜モジュールに 係り、特に、河川水、湖沼水、山尿、用水及び廃水など の原水に含まれる懸濁物をろ過するための中空糸膜モジ ュールに関する。

#### [0002]

【従来の技術】中空糸膜を用いる技術において、膜モジ ュールの洗浄には通常空気によるバブリングが使用され ている。そして、空気によるパブリングは、従来は膜モ からの散気では膜モジュールの表面のみが散気され、一 香膜の閉塞が進む集水部近辺への散気が不十分であっ

【0003】従来の片端又は両端集水型モジュールにお いて、バブリングにより濁質の剥離を行う場合。バブリ ング用の散気管は膜モジェールの下部に設置していた。 下部に集水部がある場合。 図3に示すように散気管より の空気は下部の集水部にあたり、周囲に分散してしまう ため、集水部近くのパブリングによる洗浄が充分に行え 挿入して設置しても、膜集水部近辺に対する均一なバブ リングはむずかしい。上記のように、従来の洗浄方法に おいては、透過流泉が一番高く膜の閉塞が進む集水部近 辺でのバブリング洗浄が不充分であった。

### [0004]

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記の従来 技術の問題点を解決し、農集水部近辺がパブリングによ り均一かつ充分に洗浄できる構造の中空糸膜モジュール を提供することを課題とする。

#### [0005]

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため に、本発明では、洗浄用散気部材を近接配備した外圧型 中空糸膜モジュールにおいて、ポッティング部を2段に 設け、該2段に設けたポッティング部の間隙に集水部を 設けると共に、前記2段に設けたポッティング部を貫通 して散気チューブを設置し、該貫通して設置した散気チ ューブの一端を前記散気部村に関口し、他端を中空糸膜 を張設したポッティング部に関口することとしたもので

ィング部及び集水部の形状は、円形、長方形等のいずれ の形状でもよく、ボッティング部の特質及び中空糸の材

質とか径もいずれでも使用でき、また、散気チェーブの 材質も通常使用できるものがいずれでも使用でき特に制 限はない。

#### [0007]

(2)

【作用】本発明によれば、下部集水部の下より直接中空 糸膜に散気できるため、散気した空気が集水部に阻害さ れることなく、膜間に直接散気した空気が進入し、中空 10 糸膜の特に集水部近辺を中心に充分に洗浄することがで きるものである。

#### [0008]

【実能例】以下、本発明を実施例により図面を用いて具 体的に説明するが、本発明はこれに限定されない。 突能倒1

図1に本発明の中型糸膜の概略断面図を示し、図2に図 1のポッティング部の部分拡大図を示す。図1及び図2 において、中空糸!は下部ボッティング部A2と上部ボ ッティング部4で支持されており、下部ポッティング部 ジェールの外部より散気するのが一般的であった。外部 20 A2とその下の散気チューブを支持するボッティング部 B3との間には密閉された集水部5が設けられ、散気チ ューブ9が貫通している。

【0009】そして、中空部で処理された水は下部集水 部5に集水され、集水部連絡管7を通り上部集水管6に 施入して外部に排出される。処理水の排出は下部の集水 部5から直接排出してもよい。ボッティング部3の下部 には散気された空気を一旦受ける、空気受け部10が設 置されている。空気受け部10は下部が開放されていれ は、口径がボッティング部と同じでも広がっていても良 ない。また、例えば図4に示すように、膜間に散気部を 30 い。散気チューブ9は2~5mm程度のチューブでボッ ティングA2とB3を莨道し、空気受け部10とポッテ ィング部2上面を連絡している。散気チューブ9はボッ ティング部2に対し、均一に配置されることが望まし い。散気管11より排出された空気は一旦空気受け部1 0に流入し、更に、散気チューブ9を通り、ボッティン グ部2上面より散気される。

> 【0010】散気は中空糸膜間でかつボッティング部2 より行なわれるため、ボッティング部及びその近辺に対 する洗浄効果が著しく高くなる。また散気された空気は 40 膜間を通って上昇するため、効率よく洗浄に使用され、 両端集水で上部にボッティング部のある場合もボッティ ング部に直接上昇した空気があたるため、洗浄効果が高 くなる。この実施例では、両端集水型の例を示したが、 片端集水で集水部が散気管上部にある場合も同様に実施 できる。

#### [0011]

【発明の効果】本発明により、集水部近辺での濁質の閉 塞がなくなり、閉塞による駆動圧力の上昇が最小限にな

(3)

特開平6-343837

【図1】本発明の中空糸漿モジュールの一例を示す機略 断面図。

------【図2】図1の下部ポッティング部の部分拡大図。

【図3】従来の散気による洗浄の説明図。

【図4】従来の散気による洗浄の説明図。

【符号の説明】

Untitled

\* 1:中空糸、2:下部ポッティング部A、3:下部ポッティング部B、4:上部ポッティング部、5:集水部、6:上部集水部、7:集水部連絡管、8:散気部、9:散気チューブ、10:空気受部、11:散気管、12: 処理水